

第33号

(2017年10月1日発行)

発行: 中央大学学会 出版白門会

CONTENTS

(お名前は敬称略)

- ▽第18回定期総会開催
- ▽懇親会クイズより
- ▽第8回 地図を通して知る東京馬込文士村を歩く 第2弾 (西馬込～馬込篇) …土屋 隆一
- ▽「出版セミナー(電子書籍セミナー)開催報告」 …丹田 公和
- ▽出版白門会へようこそ
- ▽「白門同窓の新刊」
- ▽「学員交歓」第3回「中大の、中大生による、中大生のための中大落語会」に参加して …丹田 公和
- ▽「私とランニング」 …吉田 光雄
- ▽新役員紹介
- ▽平成29年度役員
- ▽決算報告・新年度予算
- ▽懇親会クイズの解答
- ▽告知板
- ▽編集後記

出版白門会の関連行事予定

- ①会報発行 10月1日
 - ②箱根駅伝予選会応援
10月14日(土)9時30分
JR立川駅東改札口前集合
 - ③ホームカミングデー
10月22日(日)
 - ④第17回能楽鑑賞会
12月9日(土)12時開場 13時開演
会場: 国立能楽堂(渋谷区千駄ヶ谷4-18-1) / JR千駄ヶ谷駅より徒歩5分
狂言 文荷(ふみにない) 茂山良暢(大蔵流)
能 隅田川(すみだがわ) 観世鏡之丞(観世流)
※「申し込み方法」「内容詳細」は同封の申し込みチラシをご覧ください。
 - ⑤箱根駅伝復路応援(予定)
1月3日(水) 復路ゴールの中央大学応援団前
 - ⑥出版白門会新年会と懇親会
1月26日(金) 18時30分～
会場: 日本出版クラブ会館 会費: 6,000円
※後日、出欠確認を兼ねたご案内をお送りいたします。
 - ⑦第9回「街歩き」3月頃(予定)
※詳細が決まり次第、HPと会員メールにてご案内いたします。
- 行事に関するお問い合わせは、下記メールでご連絡ください。
E-mail: pub.hakumon@gmail.com
なお、上記行事のほか、皆さまの仕事に役立つ企画、あるいは懇親会の企画を検討中です。

出版白門

● 出版界に出版白門の知恵と情熱を! ●

●基本方針

1. 会員ニーズに応える活動による、会員満足度の向上
2. 中央大学、学会、他支部との連携強化
3. 会費徴収促進による、財政の健全化

第18回定期総会開催

第18回定期総会が7月19日(水)、猛暑の中、大橋正和中央大学常任理事、久野修慈中央大学学会会長の2名を来賓に迎え、会員38名の出席により、神楽坂の出版クラブ会館で開催された。

濱田会長の体調不良により、風間副会長が、議長代行を務め、28年度事業報告、決算報告、29年度役員、活動方針、予算の5議案について報告・提案が行われ、全議案が原案通り承認された。

風間副会長が、3代目の会長となり、鹿谷理事、森理事が、副会長に、白石副幹事長が、理事に就任。濱田会長、朝妻副会長は顧問に就任した。今回の改選で、会長以下17人中、3名の新任を含む8名の顔ぶれが変わり、フレッシュな体制で2年間の任期を務めていく。

第二部の懇親会では、最初に来賓の大橋常任理事より挨拶があり、「ChuoVision2025」に触れ、21世紀に相応しい中央大学のブランド力を持つために、アイデアと協力を呼び掛けた。次に、久野学員会会長より、「大学も大変な競争の時代に入った。10年後に生き残るために、理事長以下新しい体制となった。

是非ともご支援とご協力を」と挨拶があった。続いて、風間副会長より、「出版物は非常に厳しい状況で推移している。特に雑誌の落ち込みが激しいが、雑誌協会の理事長でもある鹿谷副会長をはじめ、ここにいる皆さんの力で、出版界を引っ張って行きましょう」と挨拶の後、乾杯の音頭を取り、懇親会がスタートした。

初参加者紹介では、中央大学出版部の柏木さん、診断と治療社の藤実さん、明石書店の李さんの3名より自己紹介があり、会場からは盛大な歓迎の拍手が沸き起こった。

恒例の「テーブル対抗中大クイズ大会」では、トリビア級の難問が続き、全チーム不正解に、会場がため息に包まれる場面もあったが、結局、2問正解チームの優勝となり、商品の図書カードが贈呈された。続いて、恒例の土屋事業委員長の歌唱指導による校歌斉唱、箱根駅伝復活を祈念した応援歌、エールで大いに盛り上がりを見せた。そして、最後に、副会長を13年努めて戴き、今回、顧問となる朝妻副会長の中締めで、名残を惜しみつつ閉会となった。



和やかに懇親



総会風景



来賓・久野学員会会長



恒例の謝辞での二次会

懇親会クイズより

【第1問】 東京オリンピックも3年後に迫りましたが、オリンピック大会の目的には重要な3本の柱があります。その3本の柱とは、次の項目のどれでしょうか？

- ①スポーツ, 文化, 教育 ②スポーツ, 文化, 科学 ③スポーツ, 教育, 環境 ④スポーツ, 文化, 環境

【第2問】 中大学友会の傘下に公認部会が7連盟ありますが、その中の体育系には「体育連盟(52部会)」と「体育同好会連盟(37部会)」があります。ここで問題です、以下の部会のうち、この「二連盟」に無い部会はどれでしょうか？

- ①キックボクシング部 ②アルパトロスゴルフ同好会
③二輪愛好会 ④スカッシュ同好会

【第3問】 中大が東京法学院だった頃の卒業生の長谷川如是閑は「少女の恋は詩なり。○○の恋は哲学なり」との言葉を残していますが○○とは次のどれでしょうか？

- ①少年 ②老いらく ③年増 ④寡婦(未亡人又は、離別による独り身の女性)

【第4問】 中大(当時は「東京法学院」)最初の海外留学生、渡辺豊治の留学先は次のどの国だったでしょうか？

- ①ドイツ ②イギリス ③フランス ④アメリカ

(答えは4P)

※一部の問題は、白門58会様の「中大検定」をベースにさせていただきました。

出版白門会ホームページアドレス <http://pub-hakumon.jimdo.com/>

facebook 出版白門会サイトへのアクセスは検索サイトの「出版白門会(中央大学学会職域支部)」から…

第8回 地図を通して知る東京馬込文士村を歩く第2弾（西馬込～馬込篇）

日時：平成29年5月20日（土）

集合場所：西馬込駅 東改札口

参加者：朝妻、阿部、一戸、丹田、島崎、土屋の6名。

昨年、6月4日に、馬込文士村の東側半分、山王地区を歩いたので、今回は西側半分の南馬込地区を歩きました。



馬込文士村は、範囲が広く、とても一回では、回り切れなかったので、東地区と西地区に分けて、実施致しました。

天気が良くて少し暑かったですが、青葉が目に染みる、街歩きには最適な日でした。本企画では、いつも街歩きならではの発見があります。

まず、西馬込駅を出発して、大田区郷土博物館に向かいました。

大正末期から昭和初期、多くの文士芸術家が暮らし交流を深めた馬込文士村。郷土博物館は、その文化遺産を保管、展示して、全体の模型もあり、とても分かりやすく解説されていました。

次に、熊谷恒子記念館⇒尾崎士郎・宇野千代（解説板）⇒川端龍子記念館では、学芸員が館内だけではなく、龍子自らが設計した旧宅とアトリエを当時のまま保存されているところを見ながら、解説して頂けたので、一同満足されたようでした。その後、

川端康成・石坂洋二郎（解説板）⇒萩原朔太郎（解説板）などを見ながら馬込駅に着いた。そして、近くの焼鳥屋で、懇親会を行いました。みなさん、急なアップダウンの道を歩いて疲れはしましたが、充実感もあり、お酒も入って、口も滑らかとなり、楽しい街歩きとなりました。



出版白門会主催 出版セミナーを開催

4月26日、24名の参加者のもと、講師に学校図書株式会社デジタル課の工藤裕課長をお迎えして、中央大学記念館において「デジタル教科書のポイント」との演題でセミナーを開催した。

奇しくも講師の工藤氏は中大理工学部卒の白門同窓ということで、大学時代の思い出から始まったセミナーは、理系の講師らしい整然と構成されたテキストと映像に従って進行された。

最初に「教科書の採択について」の概説があり、①『学習指導要領』に基づく4年に1度の全面改訂と採択活動 ②教育委員会ごとに採用が決まり、その地域で使われるかどうかは教科書出版社にとっては0か100%の世界 ③採択に向けての教科書編集・発行のスケジュール、等の教科書採択の仕組みが解説された。また、ページ増、ビジュアル化、大判化の流れで、制作コストがかさんで来ている中での、オールカラー、平均ページ数が304頁という小学校



質疑応答に聞き入る参加者

の国語教科書の買い取り価格が383円という例をあげ、出版社の厳しい現状が語られた。

10年に1度の割に改定される今度の新学習指導要領は、2020年からだが、その背景には『今の子どもたちの65%は、大学卒業時に、今は存在していない職業に就く』『今後10～20年で、雇用者の約47%の仕事が自動化される』といった、来たるべき第4次産業革命時代があるということである。

暗記中心の「詰め込み教育」、その反動の「ゆとり教育」と、時代の変化や社会の要請で改訂されてきた学習指導要領だが、AIやIoT等の人間に代わり機械が考え、働く時代になると、知識ではAIにかなわなくなる人間がAIをコントロールする力を発揮するには、機械にはできない人間ならではの資質・能力を高めなければならず、指導要領の改訂の視点も、それらを実践するための「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざすものになるとの事。



セミナー風景

次に、このような流れを背景にした中で、デジタル教科書の現状はどうか、今後の流れはといった本題に入る。まずは、デジタル教科書がどんなものか、それを使った授業がどのように行われているかが、動画や静止画で紹介された。現状では紙媒体の教科書とデジタル教科書が共存していて、主体は紙であり、デジタルは教材のレベルで従だが、今後、デジタル教科書の音声、動画、紙面検索、拡大、白黒反転、ブラインド効果の活用等の機能は、英語、理科をはじめすべての教科で、有効活用が考えられ、それらの例が紹介された。

最後に、可能性を秘めたデジタル教科書ではあるが、普及のための現実問題はどうか、解説された。デジタル教科書が効果的に普及するには、生徒数に応じたタブレットが必要であり、また、それらを一齐に使えるインターネット回線が整備されなければならない、かつ、導入後のランニングコストの問題もある。最大のネックは、それだけの予算が国にはない事。他にも、デジタル教科書編集時の著作権クリアの問題等、課題は多々あるがデジタル化は確実に進んでいる。しかし、将来の可能性は現状では未知数であり、版元としても、将来への投資、他社との競争の観点から、赤字を出しながらも発行を続けているのが現状であると最後に締めた。

最後に、可能性を秘めたデジタル教科書ではあるが、普及のための現実問題はどうか、解説された。デジタル教科書が効果的に普及するには、生徒数に応じたタブレットが必要であり、また、それらを一齐に使えるインターネット回線が整備されなければならない、かつ、導入後のランニングコストの問題もある。最大のネックは、それだけの予算が国にはない事。他にも、デジタル教科書編集時の著作権クリアの問題等、課題は多々あるがデジタル化は確実に進んでいる。しかし、将来の可能性は現状では未知数であり、版元としても、将来への投資、他社との競争の観点から、赤字を出しながらも発行を続けているのが現状であると最後に締めた。



講師の工藤氏

出版白門会へようこそ

（アイウエオ順）

藤実 正太（ふじざね しょうた）（株）診断と治療社 2006年 法学部卒

藤実正太（ふじざねしょうた）と申します。今春より、医学書出版社の（株）診断と治療社に役員として入社することになり、出版白門会に入会させていただきました。総会では出版業界の諸先輩方とお話させていただき、とても貴重な時間を過ごさせていただきました。実は、私は、出版業だけでなく、弁護士もしております。著作権等の法的問題も取り扱ってきましたが、今後は出版業についてさらに多くを学ばせていただき、業界の発展に貢献していきたいと考えております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



李 晋煥（り じん） 明石書店 2007年 法学部卒

李晋煥（りじん）と申します。昨年の7月、（株）明石書店に入社をし、5月まで営業職として働いておりました。6月から編集部に移動となり、現在は編集のいろはについて「鋭意勉強中」でございます。先日、初めて総会に参加をさせていただきました。緊張している私に対し、皆様が温かく接して下さい、とても感激をしました。諸先輩方からいろいろ学ばせて頂きたく思っておりますので、何卒よろしく願い申し上げます。



白門同窓の新刊

『奇跡の歌 ー戦争と望郷とペギー葉山』

門田 隆将 著 小学館 本体 1,600 円+税 2017 年 7 月 29 日発行

著者は「おわりに」でこう書いている。

“80 年近く前に生まれ、姿かたちを変えながら、現代も、多くの影響を与えているひとつの歌の物語を追いました。それは私自身が生まれ育った南国土佐にまつわる歌でした。その間に、実に多くの方々のドラマがあり、取材を通じて、私は、何度も、「運命」や「奇跡」、あるいは「縁(えにし)」という言葉の思い浮かべました”と。

本書は中国の悲惨な戦場で、土佐出身の「鯨部隊」の中から自然発生的に生まれ兵士の心の支えとして歌い継がれ、戦後、兵隊と共に中国大陆から「引き揚げ」てきた

望郷の歌、「南国節」が、数奇な運命を経て、ペギー葉山の「南国土佐を後にして」として蘇える物語が第一楽章であり、第二楽章は、ニューヨークでペギー葉山と運命的な出会いをし、日本人の歌として生まれ変わり、国民を元気づける歌として大ヒットし、東日本大震災では被災者を励まし続けた「ドレミの歌」の物語である。

本書は、ペギー葉山によって広められた、この二大名曲を軸として紡がれて行く物語だが、決してペギー葉山が主役という訳ではない。著者のこれまでの著作がそうであるように、ここに登場する人には、主役も、

脇役も、端役もない。すべて、同時代を生きた共演者である。その舞台では、人間のみならず、戦場で一緒に生きた動物でさえも立派な共演者である。

この群像劇は、喜びや悲しみが交錯する、同じ時代を生きた、あるいは生きている人たちに注がれる著者の、「いとおいしい」目線で綴られている。

(丹田公和)



学員交歓 第 3 回「中大の、中大生による、中大生のための中大落語会」に参加しました

7 月 22 日、白門 57 ネット主催の表記の落語会が中大記念館で開催され、出版白門会からも 5 名が参加しました。これまで、中大落語研究会出身の落語家が昇進するたびに開催してきたこの会の 3 回目は、朝也改め春風亭三朝師匠の真打昇進記念でした。今回から学員会年次支部協議会も共催

に加わり、出版白門会も目指してきた、支部間の交流活性化が着実に進んでいます。

当日の演目は『壺算』と『船徳』で、三朝師匠の、汗をふきふきの熱演に拍手喝采でした。

公演終了後は近くの「笹陣」(旧・げんない)で懇親会。三朝師匠も最後まで残り

参加者全員と交流する奮闘ぶり、オール学員会の雰囲気も漂う、賑やかな懇親会となりました。

(広報委員会・丹田)

春風亭三朝師匠



私とランニング

昨今、マラソブームはすさまじく、国内のフルマラソン大会は公認大会、準公認大会を含め 79 大会 (2016 年 4 月→2017 年 3 月 = 月刊ランナーズ 7 月号付録「全日本ランキング」資料) に及んでいる。今年 2 月開催の「東京マラソン」も含め、抽選倍率が毎回 10 倍以上に達しているように、ブームの一端はこの東京マラソンが大きく影響しているのは間違いないでしょう。

東京マラソンのように抽選制度を取り入れている大会や郵送での受け付けをしてくれる大会もありますが、ほとんどの大会がネット募集との併用で、1 時間足らずの間ですぐ定員いっぱいになってしまいます。私も今年の 2 月、5 年ぶり 4 回目となる東京マラソンに当選し、出場しましたが、はからずも、この過熱感の一翼を担っているのではないかと。

会員のみなさんの中にもランニングを楽しむ方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私もその一人として高校時代から、年間 15 ~ 20 大会ほど、さまざまな試合に出場してきました。よく皆さんから、「走っているとき何を考えて走っているのか？」と尋ねられることがありますが、そのさい、

何時も「散歩」と同じ感覚ですと答えています。

以前、上智大学の渡部昇一氏著の「知的生活の方法」や「知的読書の技術」という書籍が評判になったことがありました。その中に「散歩のすすめ」との項目があり、「散歩」の効用について述べられていたのですが、ある一定時間以上「散歩」をこなしていると (30 分以上だか 1 時間以上だったかは定かではありません) 思索の境地に達するとの箇所があったと思います。

私の場合、フルマラソンは 4 時間 30 分 ~ 5 時間 30 分、ハーフマラソンは 2 時間近くを走り続けます。古希も過ぎた私にとって記録面でのこだわりは少なくなりましたが、『愚公山を移す』【列子】との故事を思い起こしながらの「ランニング」は、「散歩」とは少々異なりますが、効用は同じ作用やふるまいを与えてくれるものにとらえています。「継続は力なり」とは物事に取り組む基本的な姿勢であるといわれています。昨今のノーベル賞受賞者のコメントや、宮本武蔵の鍛錬『千日の稽古を鍛とし、万日の稽古を練とす』【五輪書】など、さまざまな古典の中に継続することの重要性に

ついて取り上げられています。

私たちは職場や家庭、また、趣味や友人関係などさまざまな生活スタイルを持っています。そして、それぞれの場で、“自己研鑽”や“考えること”を求められることも多いのではではないでしょうか。そのような場面や状況に接した時、思索の場を求める意味においても「ランニング」あるいは「散歩」を生かせたらと考えております。

私の友人には釣り愛好者もいらっしゃいます。例えば釣り愛好者に失礼かと思いますが、彼らは、魚が釣れる、釣れないに関わらず、じい~と釣竿を流しています。漁利に一喜一憂をするのではなく、ただ、釣竿を通し、思索時間を満喫されているのではないかと考えてしまいます。

今年の 6 月、第 13 回全日本マラソン年代別ランキングが発表され、3 回目の 100 位以内を確保しました。世阿弥の『住する所なきを、まず花と知るべし』【風姿花伝】とありますが、私のランニング・スタイルもそのような場であってほしいと願っています。

吉田 光雄

新役員紹介

(アイウエオ順)

●書記・古寺さん

この度、皆様のご懇情により書記をさせていただくことになりました、サイゾーの古寺雄大です。これから出版白門会の更なる発展を目指して努力いたしますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



●副幹事長・齋藤さん

私事ですが、昨年転職し、その際にも励ましのお言葉や転職先のご紹介を頂きました。会員の皆様のご温かさには改めて感激致しました。会の発展の為、微力ながら貢献できます様努力していく所存です。



●事業委員長・堀川さん

広報・組織両委員会の方々との協力しながら「出版」という職域ならではの企画を実現してまいります。そのためにも会のこれからの担う、若い会員の方の意見を沢山取り上げていきたいと思っております。



平成29年度役員

会長 風間賢一郎 (中央社)	幹事長 竹林 聡 (日本出版販売)	事業委員長 堀川 隆 (東京堂出版)
副会長 鹿谷 史明 (ダイヤモンド社)	副幹事長 齋藤 毅 (ムレコミュニケーションズ)	広報委員長 北村 信治 (医学映像教育センター)
森 武文 (講談社)	書記 利根川伸行 (TONEGAWA)	
理事 安部 英行 (学事出版)	古寺 雄大 (サイゾー)	顧問 上瀧 博正 (全国出版協会)
一戸 裕子 (羊土社)	会計 島崎 修 (ディスカバリー)	顧問 小竹 正倫 (地図協会)
森岡 憲司 (トーハン)	藤原 隆通 (日本経済新聞出版社)	顧問 濱田 博信 (日本図書普及)
白石 紀一 (檜書店)	会計監査 土屋 隆一 (IPCビジョン)	顧問 朝妻 伸雄 (集英社 OB)
	組織委員長 高木 浩行 (トーハン)	

決算報告・新年度予算

中央大学学会出版白門会 平成28年度決算報告

自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日

収入の部 (単位:円)		科目	決算額	摘要
		前年度繰越金	729,146	前年度からの繰越金
		会費収入	338,000	年会費5,000円×65人、年会費法人会員10,000円×1法人、新入会費1,000円×3人
		その他収入	663,000	総会費、新年会費、学員会祝金、オンデマンド出版セミナー会費など
		(内訳) 総会費	292,000	6,000円×37人、2次会費、学員会祝金、大学祝金
		新年会費	282,000	6,000円×38人、2次会費
		その他	89,000	オンデマンド出版セミナー会費(21名)
		学員会補助金	120,000	支部活動支援強化補助費(80,000円)、講演会講師料補助(10,000円)、ホームページコンテンツ賞(30,000円)
		寄付	16,348	幹事寄付
		雑収入	77	会計口座利子
		総計	1,866,571	

支出の部 (単位:円)		科目	決算額	摘要
		事業費	1,047,983	総会関連費用、理事会関連費用、新年会関連費用、会報製作費など
		(内訳) 総会費	319,646	平成28年7月28日
		理事会費	16,200	平成28年7月28日
		新年会費	375,946	平成29年1月20日
		幹事会費	2,274	
		会報製作費	238,437	会報30号、31号製作費、発送料など
		その他事業費	95,480	能産賞金関連費用、オンデマンド出版セミナー講師謝礼・懇親会費など
		事務費・雑費	5,570	振込手数料など
		慶弔費	0	
		交際費	10,000	ホームカミング会提供品代
		繰越金	803,018	次年度への繰越金
		総計	1,866,571	

中央大学学会出版白門会計
島崎 修
藤原 隆通
中央大学学会出版白門会計監査
天下 晴樹

中央大学学会出版白門会 平成29年度予算

自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

収入の部 (単位:円)		科目	予算額	摘要
		繰越金	803,018	前年度からの繰越金
		会費	348,000	入会金1,000円×3人、年会費5,000円×67人、法人会員10,000円×1法人
		各種会費	668,000	総会費、新年会費、その他事業参加費他
		(内訳) 総会費	292,000	6,000円×40人、2次会費など
		新年会費	306,000	6,000円×42人、2次会費など
		その他会費	70,000	その他事業会費
		学員会補助金	120,000	支部活動支援費100,000円、講師料補助20,000円
		寄付	15,000	幹事寄付など
		雑収	80	会計口座利子など
		合計	1,954,098	

支出の部 (単位:円)		科目	予算額	摘要
		事業費	1,056,200	会報製作費、総会費、その他事業活動費
		(内訳) 総会費	320,000	
		理事会費	16,200	
		新年会費	390,000	
		幹事会費	10,000	
		会報製作費	240,000	年2回(4月、10月)発行予定
		その他事業費	80,000	講演会費、事業費、名簿作成費、読書推進活動費など
		事務費・雑費	10,000	事務用品、交通費、振込手数料等
		慶弔費	20,000	
		交際費	30,000	学員会出席祝儀、ホームカミング会賞品など
		繰越金	837,898	次年度以降に繰り越すべき会費等
		合計	1,954,098	

中央大学学会出版白門会計

懇親会クイズの解答

- 【第1問】(正解)④の「スポーツ、文化、環境」です。
IOCがオリンピックのムーブメントの三本柱と位置付けたもので、オリンピックはスポーツに卓越しているという事だけではなく、調和のとれた人間の完成を目指しています。
- 【第2問】(正解)④の「スカッシュ同好会」です。
因みに他は「体育同好会連盟」に所属しています。

- 【第3問】(正解)③の「年増」です。
大正デモクラシー運動を先導した、同期の代表的論客の一人である長谷川如是閑の数多い「語録」の一つです。
- 【第4問】(正解)①の「ドイツ」です。
1897年卒業生の中から「俊秀の士」を選び、海外へ留学させる方針が公表され、1899年12月に、渡辺豊治がドイツに旅立ちました。

告知板

■司法試験法科大学院別合格者数で中大は3位

9月12日に発表された法務省の表記発表によると、中央大学は119名で慶応大学、東京大学に次いで3位となりました。昨年より一ランクを上げたものの、合格率26.15%と、課題が残っています。法科大学院を巡っては、来年度から立教大学や青山学院大学が募集停止するなど、法曹需要の頭打ちと合わせて、同制度も問題を抱えています。

■箱根駅伝予選会応援(於:立川)にご参加ください

新たな時代への一歩を踏み出す予選会でのご声援をお願いします。予選会応援にご参加できる方は10月14日(土)9時30分にJR立川駅東改札口前に集合。一緒に昭和公司の応援会場に向かいます。詳細はホームページにてお知らせいたします。

■①出版白門会ホームページのご案内

アドレスは <http://pub-hakumon.jimdo.com/> です。Google や Yahoo といった検索サイトで「出版白門会」を検索すると上位にヒットしますので、そこからのアクセスも可能です。

■②出版白門会事務局へのご連絡は下記メールアドレスをご利用ください。

E-mail: pub.hakumon@gmail.com です。

■会費未納の皆様へ(年会費金額¥5,000)

①同封の振込用紙にて、もしくは下記口座へお振込みをお願いいたします。

郵便振替口座記号番号 00180-8-600659

加入者名 中央大学学会出版白門会

振込用紙がなくても、直接郵便局の窓口やATMでも手続きができます。ゆうちょ銀行の口座をお持ちの方は、ゆうちょダイレクト(パソコン、携帯、スマホなど)もご利用いただけます。

②他行(銀行など)からの振込みをされる場合は下記口座をご指定のうえ、手続きして下さい。

ゆうちょ銀行 当座預金

店名(店番) 〇一九(ゼロイチキユウ)

口座番号 0600659

口座名義 チュウオウダイガクガクインカイシュツパンハクモンカイ

出版白門会は皆様の会費のみで運営しております。ご協力のほど何卒よろしくお願いたします。

編集後記

この夏の世界陸上で日本は「男子400メートルリレー」で銅メダルを受賞しました。ジャマイカのウサイン・ボルト選手のラストのトラブルにより、正直、「棚ぼた的受賞」感は否定できませんが、勝負の世界、何が起るかわからないからこそ結果だと思います。この日本選手の中には白門同窓の飯塚翔太選手も入っており、「短距離」のレベル向上は素晴らしいものです。もう一つの白門の伝統「箱根駅伝」では苦戦を強いられるのが現状。「短距離に続け! 長距離も…」と勢いによって「伝統の重圧」にも打ち克ちメンタル面もブラッシュアップし、個々のパフォーマンスを向上して本戦への切符を得て欲しいものです。(北村)